



R5.11.24

校長 村上 道子

人権集会&きくま人権・同和教育講演会 11/21

今年度の人権集会のタイトルは『みんなの心はどんな色？集会』です。集会の計画、準備から当日の発表に至るまで、意見を出し合ったり、協力したり、互いを認め合ったりする様々な経験の中で、人権感覚や人権意識を高めていけるよう、各学級担任が中心となり指導し、取り組んできました。この活動を通し、亀岡の子どもたちは、自分も相手も大切にし、互いを尊重する気持ちが育ちつつあると実感しました。さて、5・6年生の発表の中で、「昔のランドセルは、男の子は黒、女の子は赤と決まっていた。」という内容があり、それを聞いた低学年児童は「え～、本当に？」と、とても不思議そうな反応でした。今の子どもたちは、「みんな自分の色で生きていいんだ。」という感覚が当たり前になっています。昭和世代の私たちの方が学ばなければならないこともたくさんあると感じました。

この集会や講演会をきっかけに、みんなが自由に幸せに生きることができる世界にするため、子どもたちと一緒に学んでいきたいと思います。

1年生
『こころはっば』2年生
『大切な名前』3・4年生
『やさしいまち』5・6年生
『性は虹色』みんなで歌おう
『Smile again』

きくま人権・同和教育講演会では、落語家の林家染太さんが、『笑う門には福来たる～いじめられっ子のぼくが落語家になったわけ～』という演題でご講演くださいました。幸せに生きるために大切な三つのキーワードは、①「プラスの言葉」②「魔法の言葉」③「1日1分夢について考える」。楽しい語りに引き込まれ、たくさん笑って、あっという間の講演の時間でした。



三つの大切なこと



楽しい語りに引き込まれ、子どもたちも終始笑顔(^^♪



落語に挑戦



「南京玉すだれ」を披露

少人数ならではの…

みなさんご存じですが、亀岡小学校は現在児童 45 人の極小規模校です。しかし、少人数は強みと捉え、工夫しながら様々な活動に取り組んでいます。何回かに分けて、その様子をご紹介します。



音楽会には先生も参加・大活躍！



参観日には保護者も授業に参加一緒に学習



「クラス会議」一人の困りごとみんなで解決！



人手が足りないところは機械にお願い！お掃除ロボット活躍中！